

修得すべき知識や技能への理解を深める

大学院インターンシップ

対象：工学研究科

インターンシップ A

- 企業のさまざまな活動について理解し、自らが専攻する専門領域に加え、幅広い専門知識の修得の必要性を学ぶ。新卒採用場面において大学院生に求められている能力やコンピテンシーを理解する。自らが思い描くキャリア像を、社会から必要とされる技術者像へと近づける。
- 社会人基礎力に基づいた自己分析と目標設定
- ビジスマナーの修得



インターンシップ B

- 約1週間から2週間程度の就業体験

■ 俯瞰的視野を身につけ キャリアデザインを再検討する

KIT が実践する大学院インターンシップでは、「自ら考え行動する高度専門技術者・研究者」に求められる俯瞰的視野の修得を目指しています。就業体験を通じて今後自分が修得し磨くべき項目を深く理解することで、自らのキャリアデザインを再検討します。

■ 博士前期課程・修士課程で実施 インターンシップ A・B

インターンシップ A・B は、博士前期課程および修士課程の大学院生を対象に開講される科目です。

インターンシップへの参加を通じて、これまでの修学で得られた専門知識やスキルと、実社会で求められる知識やスキルを結びつけることができるようになります。

また、その関連性やギャップを自らが把握し理解することで、専攻する専門スキルの向上に加えて、関連した専門領域の知識の修得も含めた修学プランを立案します。

■ 博士後期課程に実施 リサーチ・インターンシップ

後期課程の大学院生を対象に開講される科目です。

共同研究や受託研究など企業との密接な連携により実施される研究活動の中で、大学院生が学外の研究機関などで原則として3ヵ月～6ヵ月にわたり研究・開発者として業務に携わります。

組織の中で実践される研究・開発のプロセスについて理解を深めるとともに、一人の研究者あるいは開発者として組織に貢献することを目指します。

CLOSE UP

KIT Cooperative Education

産学連携による教育研究に 学部4年次から取り組む

KIT では、早くから大学院進学を希望している学生が、学部4年次から博士前期課程（修士課程）を修了するまでの3年間、一貫したテーマで研究活動ができるよう環境づくりに取り組んでいます。

2008年から新たな教育プログラムとしてスタートした「KIT Cooperative Education」では、連携企業から求められる高度な専門知識と総合力を備えた大学院進学予定者が、学部4年次に3～6ヵ月間にわたり、企業内での実際の業務に参画します。

学生は、企業の業務プロセスを実体験

学生が組織の一員として業務に参画



企業で3～6ヵ月間、実際の業務に参画（学部4年次）、
大学院進学後、連携企業に関連するテーマで研究に取り組む

することで技術者としての総合力を高めるとともに、連携企業との緊密なディスカッションを通じて、大学院で取り組む研究テーマ（連携企業との共同研究）を

明確にします。

学部・大学院一貫教育を産学連携で実現するプログラムとして、大きな期待が寄せられています。